

こうさか  
高坂遺跡

所在地 宝飯郡御津町大字広石字新宮山地内  
調査理由 県道大塚国府線建設工事における事前調査  
調査期間 平成11年8月～12月  
調査面積 1,800 m<sup>2</sup>  
担当者 木下 一・松田 訓・武井繁樹

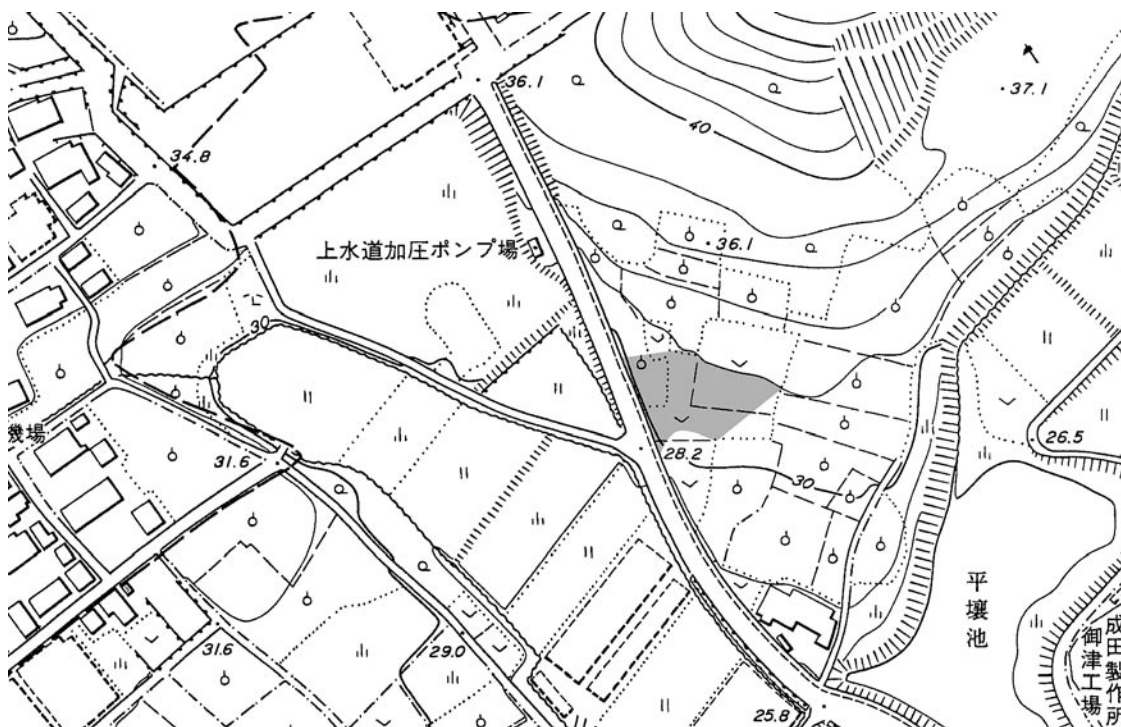


調査地点 (1/2.5万「小坂井」)

調査の経過 発掘調査は、県道大塚国府線建設工事予定地内における事前調査で、愛知県土木部より愛知県教育委員会を通じた委託事業として平成10年度に範囲確認調査を、平成11年8月17日から12月24日にかけて本調査を実施した。調査面積は、1,800 m<sup>2</sup>である。

立地と環境 高坂遺跡はJR東海道線愛知御津駅より北西約2 kmの、宝飯郡御津町大字広石字新宮山地内に所在する。調査地は、北西から南東に向かってゆるやかに下る舌状の丘陵地の南側斜面に立地し、標高は約29 m～34 mを測る。調査地の北西には、古墳時代を主体とする石堂野遺跡、東には、広石銅鐸出土地などが近接する。

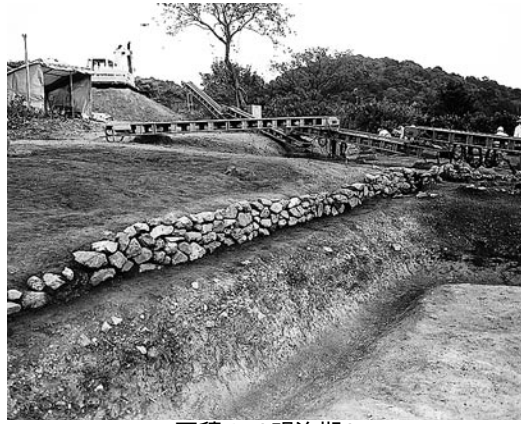
調査の概要 調査地の旧態は畑地で、この耕作土10～20 cmを機械掘削によって除去した。この段階では、ゆるやかな斜面を段状に造成し、一部に石積みを残す明治期の耕作地を検出する。さらに、この耕作地跡の段直下で削り出された部分を埋める土と、段直上の盛土を人力により除去し、遺構検出を行った。この時点では、一部ににぶい黄褐色シルトを残すも、大部分はにぶい赤褐色粘土または黄褐色粘土が露呈する。検出された遺構は、土坑62、不定形土坑15、ピット169、溝2、住居址3である。検出された遺物は、遺構に伴うものは欠山式を主体とし、わずかに古代・中世・近世遺物が含まれた。 (木下 一・松田 訓・武井繁樹)



調査区位置図 (1 : 2,500)



調査区全景 北東より



石積み (明治期)



S B 02 全景 南西より



S B 02 東側ブロック遺物出土状況



調査区 東側



調査区 南側



調査区 西側



調査区 中央付近